

ジェットロ「ビジネス短信」添付資料

表 コロナ禍後の対日輸出機会 産業部門別輸出製品例とその背景

産業部門	輸出機会が想定される分野	背景・着眼点
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・水力発電 ・放射能汚染除去用、および原子力発電所の安全強化用テクノロジー 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府による再生可能エネルギーの導入促進、日本の地形 ・福島原発事故の影響修復作業が長期的に継続
ICT	<ul style="list-style-type: none"> ・サイバー・セキュリティ ・大量データ処理システム ・ネットワークモニタリング ・ローカライゼーション、翻訳システム ・書類のデジタル化 ・オンライン送金システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステイホーム、ホームオフィス化 ・「デジタル円」確立の必要性増大 ・IoT、AI、スマートシティ導入の加速
娯楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオゲーム ・教育ゲーム、シミュレーションゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のゲーム市場は年間150億ドル規模で、米国、中国に次いで世界3位。 ・特に2020年のスマホ用ゲーム市場はすでに65億ドル規模に達し、今後も成長が見込まれている。 ・ウォーホース・スタジオズ、ボヘミア・インタラクティブ、アマニタ・デザイン、ビート・ゲームズ、DVRラブズなどのチェコのゲームメーカーは、すでに日本を含め世界中で成功を収めている。
医療・医薬品	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器、診断機器（運動可能な患者の症状監視システムを含む）、介護用ロボット ・マスク、防具、装具などの健康補助具 ・病院用設備 ・医薬品、ワクチンの共同開発 ・AI、IoT、ロボットを活用し、自動化、迅速化された「スマート・ラボラトリー」の共同開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、長寿社会 ・最新テクノロジー、特にロボットの普及拡大

(出所) 外務省発行「2020～2021年戦略的ビジネス・チャンス便覧」を基にジェットロ作成